



正院小学校 学校だより

耕道

令和5年11月号
珠洲市立正院小学校
珠洲市正院町川尻 1-39
Tel/Fax 82-0404

正院小学校 検索



「生きるということ」

校長 山野 仁志

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木もれ陽がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみをする
あなたと手をつなぐこと

生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに出会うということ
そしてかくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ
いま生きているということ
泣けるということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶんこがゆれているということ
いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ
いま生きているということ
鳥ははばたくということ
海はとどろくということ
かたつむりははうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ



これは、谷川俊太郎の「生きる」という詩です。6年生の国語の教科書にも載っています。

先日、私の父は82歳の生涯を終えました。父の葬儀を終えてから、ふとこの詩のことが思い浮かびました。繰り返し読むたびに心に響く部分が異なります。皆さんはどの言葉が心に響きますか？

父の死は突然やってきました。亡くなった日の午後11時10分すぎ、父が入院していた病院から「既に父は息をしていない」との知らせが届きました。最後の別れの場面もなく父は天国へ旅立ったのです。18歳の時に祖父を亡くして以来、家族を亡くしたのは生まれて2度目のことです。父は教員生活の最後6年間を、この正院小学校・校長として過ごしました。正院地区の皆様のお支えのおかげで、充実した教員人生を過ごすことができたことに、改めて深く感謝いたします。

私には1つの後悔があります。それは父の人生の最後を見送ってあげられず、今までの感謝の言葉を伝えられなかったことです。どんなに寂しい思いで父は旅立ったのかを考えると、自責の念に堪えません。

いつもいて当たり前前の家族がいなくなるということは、日常に大きな変化をもたらします。父とは日頃からそんなに多くの会話はなかったのに、ふと気づくと父の存在のかけらを探し求めている自分があります。生きるということがどのようなことを考えている自分があります。

父の葬儀を終えて考えたこと。それは、当たり前前の日常を過ごすことこそが生きるということであること。そんな当たり前前の日常に全力で取り組むことこそが、精一杯生きるということだと。まずは、今まで以上に感謝の気持ちを言葉で伝えられるよう心がけて行動します。後悔のないよう精一杯生きるために。

毎朝出勤し正院小学校の校舎を見ると、父を思い出し誓います。今日も精一杯生きるから！

11月の予定



※変更となる場合もあります。ご了承ください。

1	水	7:35～交通指導 安全点検 一日授業公開 いしかわ教育ウィーク（～7日）	16	木	
2	木	ふれあい集会(13:30～15:25)PTA 運営委員会(15:40～) 午前中授業公開 16時下校	17	金	SDGs 合同学習会（午前3・4年、午後5・6年）
3	金	文化の日	18	土	
4	土		19	日	9:00～珠洲市子ども大会(5,6年生緑丘中)
5	日	タウンミーティング(13:30～15:30 奥能登行政センター)	20	月	職員会議 15:40下校 家庭学習強化週間（～11/26）
6	月	一日授業公開	21	火	
7	火	児童集会（委員会発表）一日授業公開	22	水	6限後期クラブ発足
8	水		23	木	勤労感謝の日
9	木	収穫祭(13:30～15:00) 1年生 15:15下校	24	金	指導主事訪問のため 5限まで 14:25下校
10	金	文化芸術による子供育成推進事業(詩歌) 吉増剛造氏(10:40～11:40)	25	土	
11	土		26	日	
12	日	PTA 地区別研究発表会（ラポルトすず 13:00～15:50）	27	月	
13	月	たんぼぼ（児童理解の会） 学校読書週間（～11/17）	28	火	児童集会（人権） 10:00 6年生といきいきサロンの交流会
14	火	児童集会 スポチャレ day	29	水	
15	水	朝の読み聞かせ 珠洲市小学校器械運動交歓会(13:50 4年生 飯田小)	30	木	

★表彰～おめでとう～★

◇令和5年度珠洲市児童生徒絵画作品交流会

優秀賞 3年 前 昊成・4年 坂東 伊緒 優良賞 1年 西本 瑠璃・5年 森 緋悠・6年 角居 夏実

◇第48回「ごはん・お米とわたし」作文コンクール

入賞 3年 谷内前 咲春 「ごはんをいっぱい食べよう」

◇第46回 JAバンク石川「くらしの絵」コンクール

銅賞 1年 西本 瑠璃 「トマト」

◇第56回「JA 共済交通安全ポスター」コンクール

佳作 3年 皆口 真結子



◇10月18日 PFUブルーキャッツスポーツ教室◇

かほく市に本拠地をもつバレーボールチーム「PFUブルーキャッツ」の皆さんをお招きして、スポーツ教室を行いました。ソフトバレーボールをやったことのある児童はいますが、バレーボールはほとんどやったことのない児童がほとんどでした。ボールに慣れるためのグループ対抗ゲームや基本的なパス練習などを行い、最後はゲーム形式まで、みんなで体を動かして楽しい時間を過ごすことができました。「PFUブルーキャッツ」のみなさん、遠路珠洲まで本当にありがとうございました。ぜひ今後も応援したいと思います。



◆10月6日給食試食会・給食懇話会・授業参観・非行被害防止講座◆

10月の授業参観等を行いました。あいにくの悪天候となりましたが、たくさんの保護者にご来校いただきました。授業参観の前に、給食試食会・懇話会を行いました。17名の保護者に給食を試食していただきました。授業参観は、1・5・6年生は道徳、3・4年生は体育でした。どの授業でも、子どもたちは、いつも以上に頑張ろうとする姿が見られました。

非行被害防止講座では、今年度も5・6年生と保護者で『インターネットとの上手な付き合い方』について考えました。ご講義いただいた指導主事から、本校のアンケートの数値をまとめたものをお聞きしながら、改めてネット利用「家庭のきまり」について見直す必要性を学ぶことができました。今後、学校から保護者の皆様にネット利用「家庭のきまり」について見直しをお願いする予定です。ご協力お願いいたします。



【児童の感想】

私は、非行被害防止講座の話聞いて、私たちの家はルールを決めていないので、決めようと思いました。フィルタリングをかけたり、ルールを定期的にかくにしたりすることも大切だと思いました。平日は30分で休日は1時間など家で決めようと思いました。(5年 森 緋悠)

◆10月10日 1年生交流授業◆

2～3限目は、蛸島小の1年生5名を本校に招いて交流学习を行いました。2限目は1年教室で国語科の「うみのかくれんぼ」という学習で、自分たちが調べた、海でかくれんぼしている生き物を紹介しました。みんなそれぞれ調べたことをはっきり発表したり、質問や感想を話したりしました。たくさんの質問や感想があり楽しく時間は過ぎていきました。3限目は体育館で体育をしました。いつもの2倍の人数で運動することで、体育の楽しさを再発見できた時間となりました。わずか2時間の交流学习でしたが、今後も互いの学校を歩き来しながら計画的に進めていく予定です。



◆10月10日 3・4年生 生き物観察会まとめ授業◆

SDGs ラボより宇都宮さんにご来校いただき、「2回の観察会でどんな生き物に出会えたのか」「12月の発表会に向けてどんなことを考えていけばよいか」についてのまとめ授業を行っていただきました。

2回の観察会でどんな生き物に出会えたのかについては、正院小は30種類の生き物に出会えたこと、その中に貴重な種類の生き物がいたこと、また田んぼと水路で見つけた生き物にどんな違いがあったかなどを考えました。3・4年生は観察した日の事を思い出しながら楽しんで学習に取り組んでいました。



◆10月12・13日 日本ろう者劇団による「手話狂言」◆

12日(木)の午後、文化芸術事業として日本ろう者劇団の4名の皆さんが来校され、蛸島小の皆さんと一緒にワークショップを行いました。手話狂言の観劇に向け、劇団員の2名の方が、「手話って何?」「手話ってどんなものがあるの?」「言葉をしゃべらずに伝えるゲーム」などに取り組みました。

13日(金)の午後日本ろう者劇団の皆様にご来校いただき、蛸島小の皆さんと一緒に手話狂言「附子(ぶす)」を鑑賞しました。先祖代々狂言を演じている方々も来校され、古くから日本に伝わる伝統芸能・狂言を目の前で鑑賞することができたことは、子どもたちにとっても大変大きな財産になると思います。児童にとっては内容が難しい部分もあったと思いますが、集中して鑑賞することができました。



【児童の感想(お礼のお手紙)】

わたしは、手話きょうげんをみて、おもしろくて楽しかったなあと思いました。わけは、手話きょうげんをやっているときに、いろんな動きをしていたからです。また、手話きょうげんを見たいです。ありがとうございました。

(3年 皆口真結子)



◆10月17日 避難訓練(地震・津波)◆

14時5分に大地震が発生し、津波警報も発令されたという想定で避難訓練を行いました。今年度殿山まで避難する訓練は初めてでした。

学校に戻ってから、今駆け上がった殿山避難道がいつ、どのように作られたのかについて小町公民館長さんからお話を聞きました。殿山は中澤医院さんの所有地であること、東日本大震災後、地域の皆さんの安全を守るために、中澤先生の呼びかけで地域の皆さんが協力しこの避難道ができたこと。実際避難道が完成したのが東日本大震災からわずか3か月後であったこと。これらすべてに驚きながらお話を聞き入りました。

最後に避難道を作る際のみんなの合言葉を教えていただきました。『地域の宝(子どもたち)は地域で守る』。地域のみなさんのおかげで、安心して学ぶことに感謝し、教育活動をすすめていきたいと思えます。



【児童の感想】

・東日本大震災の後で、との山が整備されたことを初めて知りました。ぼくは、家に一人でいる時には、との山に進んでにげたいです。ぼくは、「自分の命は自分で守る」ということを意識してひなんしたいです。

(6年 西 琥太郎)

・との山が何で作られたか、地いきのだん結力について学びました。との山に登るのがけっこう疲れました。体力づくりをしたいです。

(5年 堂端 大和)

・わたしは、津波がとうたつするのが19分と言っていて、とても速いのですばやくひなんしたいなと思ったし、小町館長さんのお話で、との山をひなんしやすいように中澤とくぞうさんと町の人たちが協力して作っているのがとてもすごいなと思いました。

(5年 瓶子 芽那)

・小町館長さんのお話をきいて、中澤とくぞうさんは、すごくやさしい人だと思ったし、東日本大震災みたいな地震は、もうおこってほしくないと思いました。との山のことをもっと知りたいです。(5年 岡田 圭央)

◆10月19日20日 5・6年修学旅行◆

5・6年生は金沢方面へ修学旅行に行ってきました。

1日目は、NHK金沢放送局→アパホテルランチバイキング→石川県庁→石川県立歴史博物館という行程で、石川県青少年研修センターで宿泊しました。修学旅行でしか行けないようなところを見学することができて、子どもたちは、とても嬉しそうでした。

2日目は、9時の開館を待ち、新しくなった石川県立図書館をまず見学しました。グループごとに見学したのですが、30分という時間があっという間でした。ほとんどの児童がまたおうちの人と来たいと言っていました。次は、兼六園へ行きました。兼六園では、金沢市観光ボランティアガイドのまいどさんに案内をしていただきました。まいどさんの案内が終わったら、それぞれグループごとに計画したコースを回りました。午後から天気が崩れる予報だったので、少しコースを変えて行いました。希望した場所を見学したり、お昼ご飯を食べたりして、とても楽しそうでした。2日間の全ての日程を無事終了することができました。



【児童のふりかえり】

・1日目では、NHKの正式名しよを知れて、みんなの知らない裏側を知れてよかったことです。石川県庁は、19階など、県庁に行ったことがなかったので見学できて良かったし、議会室は、珠洲より広くて、特別なものを見学できて良かったです。また、石川県立歴史博物館で、見たことのないものを見られて良かったです。明日も、兼六園を見学するので、いろいろなことを知りたいです。

(6年 畑 莉彩)

・2日目で心に残ったことは、グループ自主プランです。なぜなら、グループで行動するので、時間をみるのが大変だったけど、久しぶりに一般のバスに乗ったりできたので楽しかったからです。また、おみやげを買った後、トイレに行ったら混んでいて、時間によゆうをもって行動することが大切だと思いました。色々なことが知れて、友達と仲良くできて楽しい修学旅行になりました。

(6年 角居 夏実)

・私が2日間の中で一番楽しかったことは、自主プランです。理由は、自分で食べるものをたのんだり、自分でバスに乗ったりすることが初めてだったからです。班をまとめるのは難しかったけど、楽しい思い出をつくれたので良かったです。初めてのことが多くてわからなくても、班のみんなで協力して行動できました。

(6年 柳 歩那)